

「復興の祈り『光』プロジェクト」開催中

ニツ沼総合公園を光で彩る「復興の祈り『光』プロジェクト」が12月8日（日）から開催されています。

点灯期間は2月14日（金）まで、点灯時間は午後4時30分～午後10時、園内には素敵なBGMが流れています。

ご家族ご友人お誘い合わせの上、暖かい格好でご来場ください。たくさんのご来場お待ちしております！



園内の様子



芝生広場にはお立ち台を設置



野外ステージにはベンチを設置

パークゴルフを始めてみませんか？

11月3日（日）に「ニツ沼総合公園パークゴルフ場オープン記念大会」、11月24日（日）に「ニツ沼総合公園杯チーム対抗戦」、12月15日（日）に「年忘れパークゴルフ大会」と3つの大会を開催しました。

そのほか、広野町パークゴルフ協会主催の「協会長杯」や岩手県葛巻町パークゴルフ協会との交流会を始め、ふたば未来学園高校の生徒さんたちの体験会や各種団体による大会が多数開催されています。

広野町振興公社が主催する大会は誰でも参加可能です。初心者でも大歓迎ですので、ご興味ある方はぜひご参加ください。初心者向けに「パークゴルフ初心者サポート隊」のレクチャーなども行っていますので、お気軽にご参加ください。



公式サイト



公式インスタ



「縁側の家」 主宰者が未来ワーク ふくしま移住セミナーに登壇しました

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。12月7日（土）に仙台市で開催された未来ワークふくしま移住セミナー「私たちが福島12市町村を選んだ理由」編に、広野町でカルチュラル・プラットフォーム「縁側の家」を主宰する高橋優子さんが登壇されましたのでご紹介させていただきます。

高橋さんは広野町出身で東京の大学在学中、卒業後に世界各国を回り、現在は東京にある団地でメディア対応やアート・デザイン・建築・音楽などのプロジェクトを担当されています。2016年に広野町でカルチュラル・プラットフォーム「縁側の家」の運営をはじめ、2019年から毎週2泊3日で東京へ通う2拠点生活を送りながら、週末はサーファーとして趣味を楽しむ生活を送りつつ「縁側の家」の活動をされています。

未来ワークふくしま移住セミナーでは、上記のような生活を送りつつ、「縁側の家」で境界、共有、身体を考える、アーティスト・イン・レジデンスのairバージョン「アーティスト・イン・レジデンスインエア（air in air）」の活動や、サーフコミュニティとして、インドネシアのアチェを訪問したエピソードも紹介されていました。広野町での、のんびりした生活が気に入っているお話もされていました。

高橋さんのような2拠点生活も新たな生活スタイルの一つですね。広野町が移住先だけでなく、県外の方々が2拠点生活する場所としても選んでいただけたとうれしいですね。高橋さんの活動内容は広野町移住定住ポータルサイト「移住者の声」に紹介されていますので是非ご覧ください。



▲広野町移住定住ポータルサイト「移住者の声」



登壇する高橋さん



「縁側の家」活動紹介



パネルディスカッション



参加者との座談会

問 広野暮らし相談窓口りんくひろの ☎0240-27-1251